

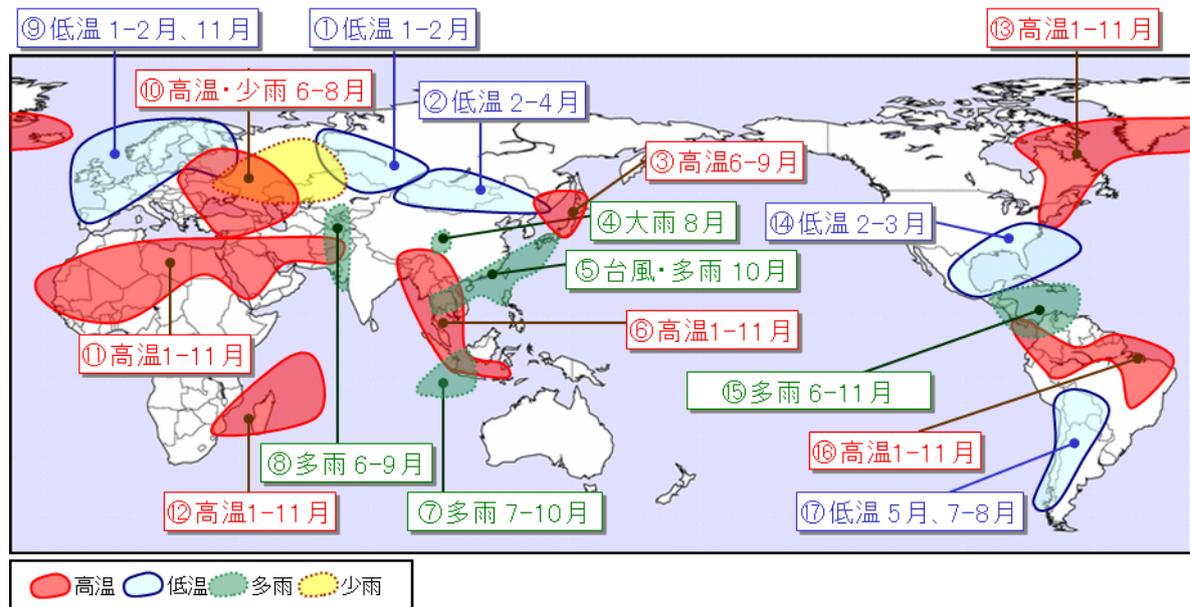
2010年（平成22年）の世界の天候（速報）

～主な異常気象と気象災害～

本資料は、世界各国からの11月までの気象通報データをもとに、速報としてまとめたものです。確定値による資料は平成23年1月14日に発表します。

- パキスタンの多雨（6～9月）、中国中部の大雨（8月）、タイ、ベトナムの多雨（10月）で気象災害が発生した。
- ロシア西部及びその周辺では、6～8月に異常高温・少雨となった。また、東南アジア、中東～アフリカ西部、マダガスカル及びその周辺、北米東部及びその周辺、南米北部では、1年を通じ、たびたび異常高温となった。
- 北極振動の影響で、西シベリア及びその周辺（1～2月）、モンゴル及びその周辺（2～4月）、ヨーロッパ（1～2月）、米国南東部及びその周辺（2～3月）では異常低温となった。また、南米南部でも異常低温（5月、7～8月）となった。

2010年に発生した主な異常気象・気象災害は以下のとおり。



世界の主な異常気象・気象災害（2010年（平成22年）1月～11月）

異常気象や気象災害のうち、規模や被害が比較的大きかったものについて、おおよその地域・時期を示した。図中の番号は概況文の番号と対応している。

- ① **西シベリア及びその周辺の低温（1～2月）** 西シベリア及びその周辺では、1月から2月にかけて、異常低温となった。ロシア中南部のオムスクでは1月の月平均気温が -24.9°C （平年差 -8.0°C ）だった。
- ② **モンゴル及びその周辺の低温（2～4月）** モンゴル及びその周辺では、2月から4月にかけて、異常低温となった。モンゴルのウランバートルでは2月の月平均気温が -20.8°C （平年差 -3.6°C ）だった。
- ③ **日本及びその周辺の高温（6～9月）** 日本及びその周辺では、6月から9月にかけて、異常高温となった。北海道の帯広では、8月の月平均気温が 23.4°C （平年差 $+3.4^{\circ}\text{C}$ ）だった。
- ④ **中国中部の大雨（8月）** 中国カンスー（甘粛）省ガンナン（甘南）チベット族自治州ズッチュ（舟曲）県では8日、大雨による土砂崩れが発生し、1760人以上が死亡したと伝えられた。
- ⑤ **西日本～タイの台風・多雨（10月）** 奄美大島では停滞前線に台風第13号の暖湿流が流れ込み、名瀬では20日（日本時間）の日降水量が622.0mmとなった（10月の月降水量平年値：238.7mm）。南シナ海周辺では、積乱雲の活動が活発で、タイのナコンサワンでは月降水量が588mm（平年比438%）となった。大雨による洪水で、タイでは100人以上が死亡、ベトナムでは60人以上が死亡したと伝えられた。
- ⑥ **東南アジアの高温（1～11月）** 東南アジアでは、1月から11月にかけてたびたび異常高温となった。タイのチェンマイでは5月の月平均気温が 31.4°C （平年差 $+2.6^{\circ}\text{C}$ ）だった。
- ⑦ **インドネシア南部及びその周辺の多雨（7～10月）** インドネシア南部及びその周辺では積乱雲の活動が活発で、たびたび異常多雨となった。インドネシアのジャカルタでは7月の月降水量が250mm（平年比460%）だった。
- ⑧ **パキスタン及びその周辺の多雨（6～9月）** パキスタン周辺では積乱雲の活動が活発で、6月から9月にかけて、異常多雨となった。7月下旬から8月上旬の大雨による洪水で1960人以上が死亡したと伝えられた。
- ⑨ **ヨーロッパの低温（1～2月、11月）** ヨーロッパ北部を中心に、1月から2月にかけて、及び11月に異常低温となった。ロシアのモスクワでは1月の月平均気温が -14.5°C （平年差 -7.0°C ）、ノルウェーのオスロでは11月の月平均気温が -4.2°C （平年差 -3.3°C ）だった。
- ⑩ **ロシア西部及びその周辺の高温・少雨（6～8月）** ロシア西部及びその周辺は、6月から8月にかけて、暖かい高気圧に覆われ、異常高温、異常少雨となった。ロシアのモスクワでは7月の月平均気温が 26.0°C （平年差 $+7.6^{\circ}\text{C}$ ）となった。ロシア西部では、熱波・干ばつによる森林火災で40名以上が死亡したと伝えられ、干ばつによる小麦の生育への影響が報じられた。
- ⑪ **中東～アフリカ西部の高温（1～11月）** 中東からアフリカ西部では、1月から11月にかけて、たびたび異常高温となった。イランのテヘランでは3月の月平均気温が 14.7°C （平年差 $+4.2^{\circ}\text{C}$ ）、エジプトのアスワンでは11月の月平均気温が 26.6°C （平年差 $+5.0^{\circ}\text{C}$ ）、モーリタニアのヌアクショットでは3月の月平均気温が 26.7°C （平年差 $+3.1^{\circ}\text{C}$ ）だった。
- ⑫ **マダガスカル及びその周辺の高温（1～11月）** マダガスカル及びその周辺では、1

月から11月にかけて、たびたび異常高温となった。マダガスカルのアンタナナリボでは5月の月平均気温が18.8℃（平年差+1.7℃）だった。

- ⑬ **北米東部及びその周辺の高温（1～11月）** 北米東部及びその周辺では、1月から11月にかけて、たびたび異常高温となった。米国のニューヨークでは7月の月平均気温が28.2℃（平年差+3.2℃）だった。
- ⑭ **米国南東部及びその周辺の低温（2～3月）** 米国南東部及びその周辺では、2月から3月にかけて、異常低温となった。米国テキサス州ヒューストンでは、2月の月平均気温が9.1℃（平年差-5.0℃）だった。また、米国ワシントンDCでは、2月11日に積雪深が56cmとなるなど、この冬の降雪量は過去最大になったと伝えられた。
- ⑮ **カリブ海周辺の多雨（6～11月）** カリブ海周辺では、6月から11月にかけて、積乱雲の活動が活発で、たびたび異常多雨となった。コロンビア北部のバランキジャでは、7月の月降水量が359mm（平年比686%）だった。
- ⑯ **南米北部の高温（1～11月）** 南米北部では、1月から11月にかけて、たびたび異常高温となった。ブラジルのゴイアニアでは、9月の月平均気温が27.5℃（平年差+3.1℃）だった。
- ⑰ **南米南部の低温（5月、7～8月）** 南米南部では、5月、及び7月から8月にかけて、南から寒気が入ったため、異常低温となった。アルゼンチンのサンカルロスデバリローチェでは、8月1日の日最低気温が-10℃を下回った（平年値：約-1℃）。

- ※ 異常気象：ここでは、月平均気温や月降水量において、その地点として30年に1回程度以下の稀な値のことを指す。
- ※ 北極振動：北極域の寒気が強弱を繰り返す現象であり、負の位相時には北極域の寒気が弱く、中緯度では低温になりやすい。
- ※ 災害の被害情報：国連の災害データベース（EM-DAT）や国連の報道機関（IRIN）、各国の政府機関の発表等に基づいている。
- ※ 気象庁ホームページでは週ごとや月ごとに世界の天候の資料を更新している。
<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/>

[この件に関する連絡先：気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課 03-3212-8341 内線 3157]